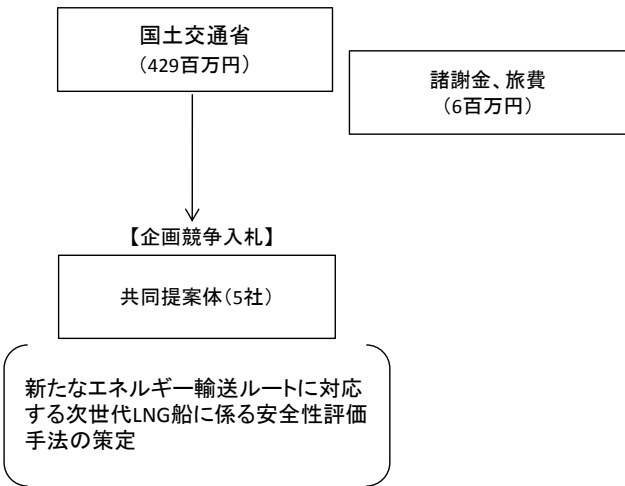


平成27年度行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	新たなエネルギー輸送ルートの海上輸送体制の確立 (LNG船に係る安全性評価手法の策定経費)			担当部局庁	海事局	作成責任者		
事業開始年度	平成25年度	事業終了(予定)年度	平成27年度	担当課室	船舶産業課	課長 大坪 新一郎		
会計区分	一般会計			政策・施策名	9 市場環境の整備、産業の生産性向上、消費者利益の保護 36 海事産業の市場環境整備・活性化及び人材の確保等を図る			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等				
主要政策・施策	海洋政策、科学技術・イノベーション、地球温暖化対策			主要経費	その他の事項経費			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	米国シェールガスの輸送等、液化天然ガス(LNG)輸送の増加に対応するため、新たなエネルギー輸送ルートにおける安全かつ効率的な輸入を可能とする海上輸送体制を確立することにより、クリーンで経済的なエネルギーの安定的な供給とともに我が国造船業の発展を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	米国シェールガス輸送需要等に対応し、今後拡大が見込まれる大型で高い輸送効率を有する次世代のLNG運搬船等の世界市場の獲得のため、我が国LNG運搬船の信頼性・優位性が正当に評価される環境整備として①設計強度②工作品質及び③操船性能の安全性評価手法の策定を行う。							
実施方法	直接実施、委託・請負							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求	
		補正予算	-	278	170			
		前年度から繰越し	-	-	278	170		
		翌年度へ繰越し	-	▲ 278	▲ 170			
		予備費等	-	-	-			
		計	0	0	437	300	0	
	執行額	-	0	435				
	執行率 (%)	-	-	100%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 32 年度	
	本事業で策定した安全性評価手法を採用する各国の船舶検査機関の世界シェアを50%以上獲得する	本評価手法を採用する各国の船舶検査機関の世界シェア (%)	成果実績	%	-	-	0	
			目標値	%	-	-	0	50
			達成度	%	-	-	0%	
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載							<input type="checkbox"/> チェック	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込		
	次世代LNG船に係る安全性評価手法策定数	活動実績	-	-	0			
		当初見込み	-	-	0	3		
単位当たりコスト	算出根拠	単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込		
	-	単位当たりコスト	百万円					
		計算式	/					
平成27・28年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0.4						
	職員旅費	0						
	委員等旅費	0.6						
	海事産業市場整備等推進調査費	129						
	計	130	0					

事業所管部局による点検・改善						
項目		評価	評価に関する説明			
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	グリーンかつ経済的なエネルギー需給の実現にも寄与するとともに、船舶の安全確保のために国が法律に基づき基準を定め、検査を実施することから国の関与は不可欠である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	同上		
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	同上		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	業務委託にあたっては、企画競争により支出先を選定しており、競争性は確保されているとともに、支出に見合った十分な成果が獲得されるものとする。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		-	各安全性評価手法の策定のためのコストは異なるものであることから、単位当たりのコストとして一律で記載することは適当ではない。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○	同上		
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	同上		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		-			
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		△	2カ年事業であり、安全性評価手法は2カ年目に確立されるため、成果実績や活動実績には現れていない。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		△	同上		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		△	同上		
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)					
	所管府省・部局名	事業番号	事業名			
点検・改善結果	点検結果	上記の自己点検結果により、本事業は適切に実施されていると考える。				
	改善の方向性	外部からの指摘等を踏まえ、必要な見直しを行っていく。				
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	
平成25年度	新26-71	平成26年度	347			

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.共同提案体(5社)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	人件費	121			
直接経費	模型製作費、実験費、数値計算費等	185			
管理費	一般管理費	77			
その他	消費税等	46			
計		429	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載 チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本海洋科学、日本海事協会、日本海難防止協会、造船会社A、造船会社B	新たなエネルギー輸送ルートに対応する次世代LNG船に係る安全性評価手法の策定	429	1	99.9%
支出先上位10社リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載			<input type="checkbox"/> チェック		